

投資情報ウィークリー

2019年11月18日号

調査情報部

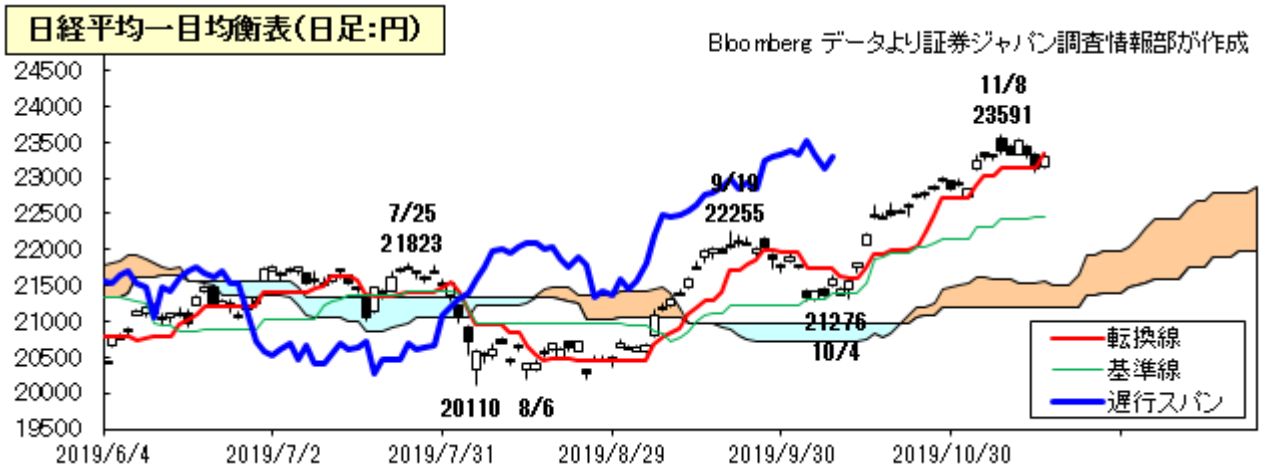
今週の見通し

先週の東京市場は、調整含みの動きとなった。米中貿易協議の進展期待による米国株高や国内企業の決算発表での悪材料出尽くし感が下支えとなっていたが、高値警戒感が上値を抑えたうえ、円高や先物の売りが下げを加速させた。日経平均は12日に終値ベースの年初来高値を更新し、約1年ぶりに23500円台に乗せたものの、先行した銘柄には利益確定売りが広がった。ただ、好業績銘柄や材料株は個別に賑わった。米国市場は引き続き貿易協議の進展期待や景気回復期待を背景に上昇し、NYダウは最高値更新が続いた。為替市場でドル円は、1ドル109円台でスタートしたものの、米長期金利の低下を映して、108円台前半まで円高が進んだ。ユーロ円は経済指標を睨みつつ、ユーロ弱含みとなり、1ユーロ119円台半ばまでユーロが売られた。

今週の東京市場は、下値固めの動きとなろう。決算発表一巡で新規材料難となる中、米中貿易協議の行方や内外の政策を睨んで、一進一退の動きとなろう。外国人投資家の押し目買い姿勢は続くともみられ、下値はある程度限定的となろう。決算発表で好調な業績が示された銘柄が選別物色されるとみられるほか、先行して調整した銘柄には切り返しの動きも見られよう。米国市場は貿易交渉の進展や経済指標の改善を期待し、概ねしっかりの展開が続こう。為替市場でドル円は、米長期金利動向を睨みながら、1ドル108円台を中心としたもみ合いとなろう。ユーロ円も長期金利にらみで、1ユーロ119円台でもみ合いの展開となろう。

今週、国内では20日(水)に10月の貿易統計、訪日外国人数、22日(金)に10月の全国消費者物価が発表されるほか、22日、23日(土)にG20外相会議が名古屋で開かれる。また、23日～26日(火)にローマ教皇が38年ぶりに日本を訪れる。一方、海外では19日(火)に10月の米住宅着工件数、21日(木)に10月の米景気先行指数、中古住宅販売が発表される。

テクニカル面で日経平均は、5日線を下回り、日足一目均衡表の転換線を割り込んだ。25日移動平均のボリンジャーバンドではプラス1シグマを下回り、25日線への調整が意識される。25日線は日々80円程度上昇してきており、今週半ばには23000円台に到達しよう。当面は25日線(22780円:15日現在)や5日に空けた窓(22852円)を試す可能性があるものの、この水準を維持すれば、再び8日の戻り高値(23591円)を伺う動きとなろう。(大谷 正之)



【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資のヒント

☆ TOPIX スモール採用で通期計画に対する中間期実績進捗率の高い主な業績堅調銘柄群

3月期企業の間接決算がほぼ出揃った。外部環境の厳しさを背景に通期計画を下方修正する企業も目立つ中、堅調な業績を発表する企業も散見されている。下表には TOPIX スモール採用で通期計画に対する中間期実績の進捗率が高い銘柄群を選別した。テクニカル的に好位置にある銘柄も多く、注目したい。(野坂 晃一)

表. TOPIXスモール採用で通期計画に対する中間期実績進捗率の高い主な業績堅調銘柄群

| コード | 銘柄 | 株価(円) | 予想PER (倍) | 実績PBR (倍) | 予想利回り (%) | 予想経常利 益伸率(%) | 経常利益 進捗率(%) | 信用倍率 (倍) | 13週乖離率 (%) | 26週乖離率 (%) |
|------|--------|-------|--------------|--------------|--------------|-----------------|----------------|-------------|---------------|---------------|
| 9107 | 川崎汽 | 1804 | 15.2 | 1.45 | - | - | 267.5 | 0.89 | 27.53 | 34.17 |
| 7448 | ジンスメイト | 336 | 56.8 | 1.36 | - | 76.2 | 235 | 2.79 | 4.8 | 1.51 |
| 9675 | 常磐興 | 1804 | 28.8 | 1.13 | 1.1 | 394.6 | 218 | 0.93 | 5.86 | 7.5 |
| 5612 | 鑄鉄管 | 1372 | 30 | 0.62 | 1.45 | - | 124.1 | 8.5 | 19.57 | 32.9 |
| 9511 | 沖縄電 | 1962 | 16.1 | 0.65 | 3.05 | 57.1 | 102.4 | 0.48 | 10.41 | 13.7 |
| 3397 | トリドール | 2433 | 40 | 3.11 | 0.51 | 262 | 97.8 | 0.86 | -0.91 | 4.74 |
| 2594 | キーコーヒー | 2409 | 73.6 | 1.5 | 0.74 | 18.4 | 95.9 | 0.35 | 8.14 | 10.73 |
| 3880 | 大王紙 | 1499 | 17.3 | 1.2 | 0.7 | 72.7 | 95.8 | 0.13 | 7.54 | 12.52 |
| 8871 | ゴールドクレ | 2344 | 11.3 | 0.67 | 2.98 | 40.5 | 94.6 | 0.19 | 7.78 | 14.63 |
| 7955 | クリナップ | 689 | 16.8 | 0.48 | 2.9 | - | 90.2 | 1.82 | 18.81 | 22.81 |
| 8934 | サンポート | 1264 | 6.4 | 1.01 | 3.12 | 9.3 | 78.9 | 15.85 | -0.9 | 7.5 |
| 7421 | カッパクリエ | 1484 | 82.2 | 5.45 | 0.33 | 136.8 | 78.3 | 0.41 | 4.14 | 5.24 |
| 9517 | イーレックス | 1578 | 20.7 | 4.05 | 0.76 | 67.3 | 74.6 | 0.75 | 21.14 | 27.68 |
| 3254 | ブレサンス | 1811 | 5.2 | 1.05 | 2.87 | 18.5 | 74.4 | 3.23 | 6.04 | 12.34 |
| 9629 | PCA | 3650 | 15.4 | 1.84 | 0.84 | 90.7 | 73.5 | 4.26 | -5.91 | -3.31 |
| 9726 | KNTCT | 1619 | 22.1 | 1.58 | - | 27 | 72.8 | 1.75 | 6.34 | 10.7 |
| 6355 | 住友精 | 3510 | 8.8 | 0.61 | - | 11.6 | 70 | 25.04 | 12.02 | 18.18 |
| 6961 | エンプラス | 3585 | 24.5 | 0.87 | 0.83 | 6.6 | 68.6 | 2.12 | 4.06 | 7.54 |
| 3778 | さくらネット | 642 | 117.1 | 3.18 | 0.38 | 21.5 | 67.9 | 3.49 | 3.23 | 8.68 |
| 6073 | アサヒ | 2094 | 14.7 | 1.92 | 2.86 | 13.6 | 67.8 | 9.72 | 4.17 | 2.2 |
| 5121 | 藤コンボ | 496 | 10.5 | 0.47 | 2.82 | 67.1 | 66.1 | 9.74 | 13.86 | 17.2 |
| 7241 | フタバ | 849 | 10.4 | 1.1 | 1.17 | 47.3 | 65.9 | 2.93 | 11.91 | 23.31 |
| 8218 | コメリ | 2387 | 10.3 | 0.66 | 1.75 | 9.7 | 64.6 | 2.7 | 5.93 | 7.38 |
| 6333 | 帝国電 | 1325 | 14.1 | 1.03 | 2.26 | 21.8 | 64.5 | 5.84 | 9.29 | 9.72 |
| 7979 | 松風 | 1711 | 19.8 | 1.11 | 1.51 | 13.6 | 64 | 3.44 | 10.06 | 16.85 |
| 2613 | Jオイル | 4435 | 13.5 | 0.82 | 2.25 | 9.1 | 63.9 | 0.44 | 5.78 | 8.48 |
| 6368 | オルガノ | 6250 | 12.7 | 1.23 | 1.5 | 27.7 | 63.7 | 0.55 | 22.89 | 42.92 |
| 9928 | ミロク情報 | 2921 | 22.3 | 4.6 | 1.3 | 22.6 | 63.4 | 2.11 | 1.37 | -4.65 |
| 1662 | 石油資源 | 2991 | 9 | 0.4 | 1.67 | 74.9 | 62.3 | 1.67 | 9.04 | 16.25 |
| 4839 | WOWOW | 2760 | 13.3 | 1.26 | 2.89 | 6.2 | 61.9 | 0.71 | 5.91 | 5.41 |
| 5440 | 共英製鋼 | 2179 | 9.4 | 0.64 | 2.75 | 85.1 | 61.1 | 3.11 | 9.53 | 13.85 |
| 6294 | オカアイヨシ | 1307 | 9.4 | 1.03 | 2.14 | 12.2 | 61.1 | 51.67 | 6.89 | 6.12 |
| 2288 | 丸大食 | 2342 | 29 | 0.79 | 1.49 | 43.2 | 61 | 0.22 | 3.27 | 8.95 |
| 5805 | 昭電線HD | 1062 | 6.5 | 0.83 | 0.94 | 17.8 | 60.3 | 4.28 | 19.98 | 24.98 |
| 6788 | 日本トリム | 5160 | 27.5 | 2.31 | 1.35 | 19.3 | 60 | 2.57 | 8.17 | 5.35 |
| 9790 | 福井コン | 3475 | 22.4 | 6.12 | 1.15 | 15.2 | 59.7 | 1.22 | 35.95 | 40.51 |
| 9934 | 因幡電産 | 5130 | 14.3 | 1.13 | 3.89 | 5.7 | 59.2 | 2.15 | 5.18 | 8.67 |
| 4917 | マンダム | 2971 | 23.7 | 1.99 | 2.08 | 6.5 | 58.8 | 0.07 | 8.31 | 10.47 |
| 9616 | 共立メンテ | 5130 | 19.6 | 2.37 | 0.91 | 7.5 | 58.3 | 3.29 | 11.84 | 7.84 |
| 6089 | ウィルG | 1082 | 12.1 | 6.77 | 1.66 | 31.1 | 57.9 | 11.02 | 13.25 | 17.69 |
| 7508 | GセブHD | 3890 | 14 | 2.23 | 2.21 | 9.6 | 57.9 | 2.39 | 14.4 | 21.34 |
| 8281 | ゼビオHD | 1290 | 27.1 | 0.48 | 2.71 | 13 | 57.6 | 1.67 | 7.48 | 6.1 |
| 8584 | ジャックス | 2643 | 9.1 | 0.58 | 3.4 | 6.6 | 57.4 | 1.92 | 13.07 | 19.27 |
| 5933 | アルインコ | 1214 | 10.6 | 0.9 | 3.13 | 14 | 57.1 | 1.15 | 16.74 | 20.77 |
| 2882 | イトアンド | 1781 | 50.9 | 2.49 | 0.56 | 12.4 | 56.9 | 0.35 | 3.05 | 5.49 |
| 6800 | ヨコオ | 3190 | 24.3 | 2.64 | 0.87 | 12.6 | 56.7 | 0.94 | 7.7 | 23.34 |
| 6035 | IRジャパン | 3805 | 38.7 | 14.98 | 1.44 | 79.7 | 56.6 | 6.93 | -1.08 | 12.28 |
| 9887 | 松屋フーズ | 4140 | 25.4 | 1.85 | 0.57 | 38.7 | 56.4 | 1.54 | 4.19 | 11.6 |
| 7780 | メニコン | 4140 | 35.6 | 3.42 | 0.67 | 14.9 | 56.4 | 0.52 | 7.18 | 8.48 |
| 7456 | 松田産業 | 1661 | 10.9 | 0.73 | 2.04 | 13.9 | 56.1 | 0.54 | 11.55 | 11.72 |
| 7715 | 長野計器 | 765 | 7.3 | 0.63 | 2.87 | 6.7 | 55.9 | 8.15 | 8.2 | 6.47 |

※指標は11/12日時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

今週の参考銘柄

東洋紡(3101)

第2四半期(4~9月)業績は売上高が前年同期比0.1%増の1649.0億円、営業利益が同4.8%増の111.1億円となった。フィルム・機能樹脂事業は環境配慮型フィルムや液晶偏光子フィルムが好調だったものの、エンジニアリングプラスチックは中国の非自動車向けが不調で、前年同期比1.7%減収、18.6%増益となった。産業マテリアル事業はスーパー繊維が好調だったものの、エアバック用基布が火災の影響で苦戦し、同1.0%増収、74.8%営業減益となった。また、ヘルスケア事業はバイオ・メディカル事業の診断薬用酵素が海外向けに伸びたほか、機能膜・環境事業のVOC(揮発性有機化合物回収)処理装置や海水淡水化用逆浸透膜が伸び、同19.3%増収、45.0%営業増益と好調だった。一方、繊維・商事事業では中東向け特化生地や企業向けユニフォーム用途は伸びたものの、アクリル繊維が原料価格の変動を受けて需要が低迷し、同5.3%減収、1億円の営業赤字となった。通期見通しは売上高3500億円(前期比4.0%増)、営業利益220億円(同1.3%増)で据え置かれたが、昨年9月の火災事故による代替品調達のコスト増などから、当期純利益は従来計画比30億円減の140億円(前期は6.0億円の赤字)に下方修正された。ただ、中間期の通期営業利益計画に対する進捗率は50.5%で、前年同期の48.7%を若干上回っている。下期は環境対応製品やバイオ関連、液晶分野などの需要拡大も期待され、通期計画は上振れの可能性がある。

栗田工業(6370)

第2四半期(4~9月)業績は売上高が前年同期比4.1%増の1317.5億円、営業利益が同127.5%増の185.0億円となった。固定資産売却益(48.0億円)の計上と前年同期の事業譲渡損(28.8億円)がなくなったことから、営業利益以下は大幅な増益となった。また、今期から米国2社、英国1社を新規に連結している。水処理薬品事業では国内が鉄鋼向けプロセス薬品を中心に好調だったほか、海外は新規連結効果によって、セグメント収益は前年同期比12.7%増収、163.4%営業増益となった。水処理装置事業では、国内は電子産業分野向けが前期受注案件の進捗で増加したほか、メンテナンス・サービスも顧客企業の生産能力増強投資などにより好調だった。一方、一般産業分野向けでは装置売上が伸びたものの、メンテナンス・サービスが前期の大型案件の反動で減少した。海外は米国の新規連結効果があったものの、前期の大型案件売上の反動から減収となり、セグメント全体では同1.8%減収ながらも、営業利益は固定資産売却益などが効き、同108.9%増と大幅増益になった。通期計画は為替の影響などを考慮し、売上高を従来計画比70億円減の2730億円に下方修正したが、営業利益以下は据え置いた。電子産業向けの水処理装置が堅調を維持しているほか、海外の装置受注も伸びており、高水準の超純水供給事業と合わせて、堅調な業績推移が期待できよう。

(大谷 正之)

東急(9005)

第2四半期累計期間(4~9月:上期)の営業利益は前年同期比横ばいの448億円。交通事業が堅調だった他、昨年9月に開業した「渋谷ストリーム」が貢献するなど、開業費用をカバーした不動産事業も増益を確保した。下期には、今月1日に開業した「渋谷スクランブルスクエア第1期(東棟)」、13日に開業した「南町田グランベリーパーク」の開業費用があるものの、高水準の賃料などによる収益貢献が見込まれる他、ホテル・リゾート事業での改装効果や新店開業が寄与しそうで、通期の営業利益は830億円と前期比1.3%の増益が見込まれる。なお、「渋谷スクランブルスクエア第1期(東棟)」などの再開発が順調に進捗しており、株主還元を強化する方針。年間配当は前期比3円増配(8期連続の増配)の23円、100億円の自社株買い(11月12日から12月30日まで)も発表した。

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

今週の参考銘柄

森永乳業(2264)

第2四半期累計期間(4~9月:上期)の営業利益は前年同期比7.6%増の159億円。夏場の天候不順の影響でアイスクリームが減収だった他、「マウントレーニア」が苦戦したものの、ヨーグルトの基幹ブランドの販売が堅調だった他、価格改定による利益率改善効果、効率的な販促、原材料価格も想定以上に上昇しなかったことから、計画を上回る営業増益を確保した。下期は、消費増税の影響や原材料価格及び物流費の上昇など不透明な環境が続くとみられる他、販促費の積極投入などで営業減益を計画しているが、海外の好調、ヨーグルトの販売堅調、アイスクリームの販売回復が予想される他、プロダクトミックスの改善効果やコスト削減効果も見込まれるため、通期の営業利益は会社計画(230億円)を上回ることが期待される。同社は3カ年の中期経営計画、そしてグループ10年ビジョン(2029年3月期に営業利益率7%以上目標など)を掲げているが、目標達成に向けて今後も最重点課題に取り組む方針。基幹ブランドの更なる強化、ビフィズス菌の訴求、機能性ヨーグルトの拡大(「トリプルヨーグルト」)、海外事業の育成、新市場の開拓(「ミルク生活」、「やさしいジュレ」)、生産体制の最適化などだ。

セイコーHD(8050)

第2四半期累計期間(4~9月:上期)の営業利益は前年同期比22.7%増の70.16億円。第2四半期(7~9月)において売上高が636億円と前年同期比3.1%増とプラスに転じた他、営業利益も41億円と同27.3%増加した。主力のウォッチ事業の好調が続く、国内では9月に消費増税前の駆け込み需要で高額品(「クレドール」、「グランドセイコー」)を中心に販売が拡大した他、米国など海外でも「グランドセイコー」などが好調に推移、コスト削減効果も出たようだ。また、システムソリューション事業も売上が堅調に推移、上期の営業利益は14.7億円、営業利益率は9.4%に高まった。一方、電子デバイス事業は半導体設備投資の低迷の影響などから減収、大幅営業減益となった。通期の会社計画を修正、売上高は前回計画から20億円引き下げ2530億円、営業利益は同5億円引き上げて100億円を見込む。主力のウォッチやシステム及びソリューション事業の営業利益計画を引き上げたものの、電子デバイス事業は大きく引き下げた。下期は国内で駆け込み需要の反動減はありそうだが、高級品を中心にグローバルブランドの強化策が奏功、売上増加と利益率の改善傾向が当面続きそうだ。

(増田 克実)

サーバーワークス(4434)

第2四半期の業績は、売上高が前年同期比60.4%増の30.7億円、営業利益が前年同期比58.9%増の2.0億円。製品・サービス区別売上高は、クラウドインテグレーション売上高が前年同期比17.5%増の3.1億円、リセール売上高が前年同期比76.0%増の23.6億円、MSP売上高が前年同期比33.2%増の3.6億円、その他売上高が前年同期比3.2%減の0.2億円。既存顧客のAWSの利用拡大に伴いリセールが成長を牽引しており、ストック比率は90%弱にまで増加している。通期の業績予想は、売上高が前期比34.1%増の60.0億円、営業利益が前期比11.1%増の3.7億円。IaaS市場の拡大が続いており、シェアの拡大を目的に採用を強化していくことから、営業利益率は前期比1.4ポイント低下の6.1%を見込んでいる。今期はエンジニアを中心に34名採用する方針で、上期までに18名の採用を行っている。IaaS市場は急拡大を続けており、その中でも同社が導入支援を手掛けるAWSが市場の成長を牽引している。そのため同社の業績は市場の拡大に伴い、今後も高い成長が期待されるものと思われる。

(下田 広輝)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<国内スケジュール>

11月18日(月)

10月首都圏マンション販売(11:30、不動産経研)
大饗の儀(2回目、皇居・宮殿)

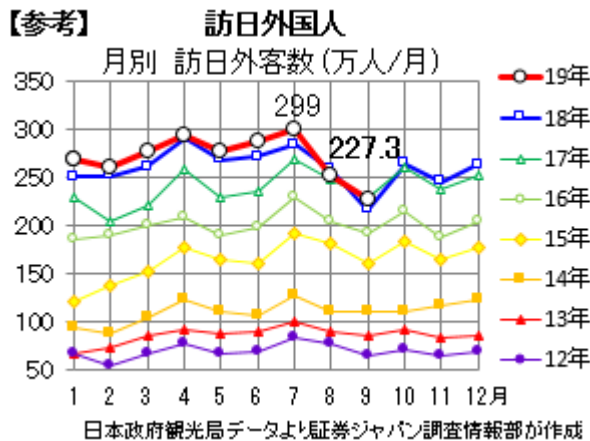
11月19日(火)

10月半導体製造装置販売高(16:00、SEAJ)

11月20日(水)

10月貿易統計(8:50、財務省)
10月訪日外国人数(16:00、政府観光局)
10月主要コンビニ売上高(フランチャイズチェーン協)

【参考】



【参考】直近で発表された主な経済指標

| | 前回より |
|---------------------|------------|
| 9月 国際収支、経常収支 | 1.6129兆円 ↓ |
| 9月 国際収支、貿易収支 | 11億円 ↓ |
| 10月 景気ウォッチャー調査現状 | 36.7 ↓ |
| 10月 景気ウォッチャー調査先行き | 43.7 ↑ |
| 10月 倒産件数 前年比 | +6.84% ↓ |
| 9月 コア機械受注 前月比 | -2.9% ↓ |
| 9月 コア機械受注 前年比 | +5.1% ↑ |
| 10月 マネーストックM2 前年比 | +2.5% ↑ |
| 10月 工作機械受注 前年比 速報 | -37.4 ↓ |
| 10月 企業物価指数 前月比 | +1.1% ↑ |
| 10月 企業物価指数 前年比 | +0.4% ↑ |
| 3Q GDP 前期比 速報 | +0.1% ↓ |
| 3Q GDP年率 前期比 速報 | +0.2% ↓ |
| 3Q GDPデフレーター 前年比 速報 | +0.6% ↑ |
| 9月 第3次産業活動指数 前月比 | +1.8% ↑ |
| 9月 鉱工業生産 前月比 確報 | +1.7% ↑ |
| 9月 鉱工業生産 前年比 確報 | +1.3% ↑ |
| 9月 設備稼働率 前月比 | +1.0% ↑ |

※ご注意「前回より」は前の四半期・月との比較ですが、改訂・確報とある場合は直近の速報値との比較です。発表、報道等より証券ジャパン調査情報部が作成

11月21日(木)

9月全産業活動指数(13:30、経産省)
上場 トウエンティフォーセブン<7074>東M

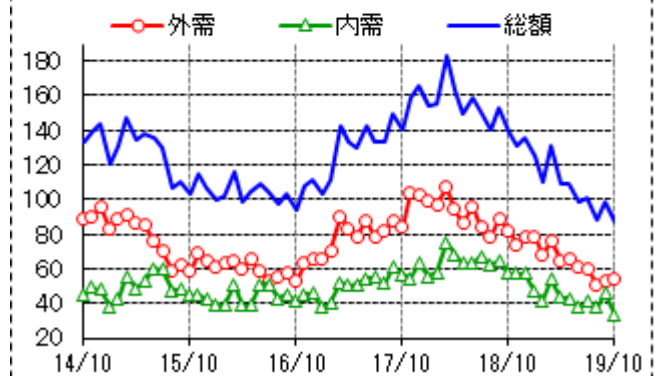
11月22日(金)

10月全国消費者物価(8:30、総務省)
10月全国百貨店売上高(8:50)
G20外相会議(23日まで、名古屋市)
天皇、皇后両陛下が伊勢神宮参拝(23日まで)

11月23日(土)

勤労感謝の日
フランシスコ・ローマ法王来日(26日まで)
日中韓3カ国環境大臣会合(24日まで、北九州市)
日韓軍事情報包括保護協定(GSOMIA)失効期限

【参考】工作機械受注(月別:十億円)



※ 10月速報
総額 874.55億円(8月の884.87億円を割り込む)
前年比 総額-37.4%、内需-42%、外需-34.1%

Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

<国内決算>

11月19日(火)

13:00~ 【2Q】東京海上<8766>
時間未定 【2Q】SOMPO HD<8630>、MS&AD<8725>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

<海外スケジュール・現地時間>

11月18日(月)

米 ロサンゼルス自動車ショー(12月1日まで)
休場 メキシコ(革命記念日)

11月19日(火)

欧 9月ユーロ圏国際収支
米 10月住宅着工件数
欧 10月欧州新車販売

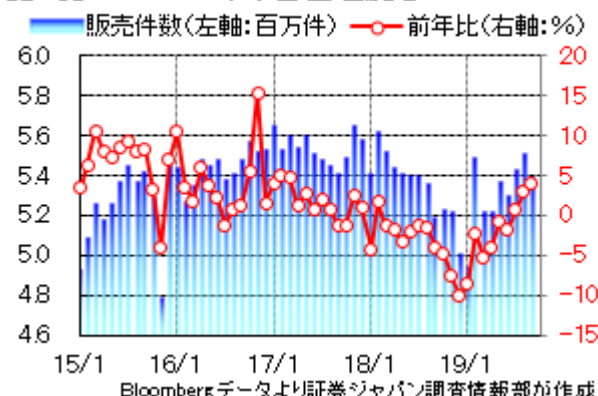
11月20日(水)

独 10月生産者物価
10月29・30日のFOMC議事要旨
休場 ブラジル(黒人意識の日)

11月21日(木)

米 11月フィラデルフィア連銀製造業景況指数
米 10月景気先行指数
米 10月中古住宅販売

【参考】 米中古住宅販売



11月22日(金)

欧 11月ユーロ圏PMI

11月24日(日)

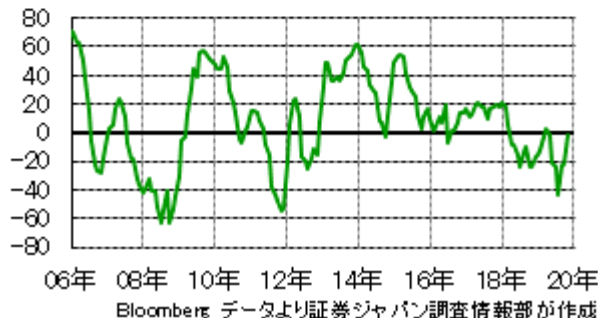
香港区議会(地方議会)選挙

【参考】 直近で発表された主な経済指標

| | 前回より |
|---------------------|---------|
| 米 11月 シカゴ大消費者信頼感指数 | 95.7 ↑ |
| 米 9月 卸売在庫 前月比 確報 | -0.4% ↓ |
| 米 10月 CPI 前月比 | +0.4% ↑ |
| 米 10月 CPI 前年比 | +1.8% ↑ |
| 米 10月 CPIコア 前月比 | +0.2% ↑ |
| 米 10月 CPIコア 前年比 | +2.3% ↓ |
| 米 10月 PPI 前月比 | +0.4% ↑ |
| 米 10月 PPI 前年比 | +1.1% ↓ |
| 米 10月 PPIコア 前月比 | +0.3% ↑ |
| 米 10月 PPIコア 前年比 | +1.6% ↓ |
| 欧 3Q GDP 前期比 速報 | +0.2% - |
| 欧 3Q GDP 前年比 速報 | +1.2% ↑ |
| 独 11月 ZEW景況感指数現状 | -24.7 ↑ |
| 独 11月 ZEW景況感指数期待 | -2.1 ↑ |
| 独 3Q GDP 前期比 速報 | +0.1% ↑ |
| 独 3Q GDP 前年比 速報 | +1.0% ↑ |
| 中 10月 CPI 前年比 | +3.8% ↑ |
| 中 10月 PPI 前年比 | -1.6% ↓ |
| 中 10月 マネーサプライM2 前年比 | +8.4% - |
| 中 11月 独身の日、アリババの取扱高 | 4.2兆円 ↑ |
| 中 10月 鉱工業生産 前年比 | +4.7% ↓ |
| 中 10月 小売売上高 前年比 | +7.2% ↓ |

※ご注意「前回より」は前の四半期・月との比較ですが、改訂・確報とある場合は直近の速報値との比較です。発表、報道等より証券ジャパン調査情報部が作成

【参考】 独ZEW景気期待指数



<海外決算>

11月19日(火)

ホーム・デポ

11月20日(水)

ニュアンス、ターゲット

11月21日(木)

インテュイト、スプラック、ギャップ、メーシーズ

(東 瑞輝)

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資にあたっての注意事項

●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大 1.2650% (税込) (但し、最低 2,750 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1 取引の約定代金が 100 万円以下の場合は 1 取引につき 550 円 (税込)、1 取引の約定代金が 100 万円超の場合は 1 取引につき 1,100 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。「1 日定額コース」においては、1 日の約定代金 300 万円ごとに 1,650 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1 日定額コースは、取引回数 (注 1) が 30 回以上の場合、現行の手数料に加えて 22,000 円 (税込) の追加手数料を加算させていただきます。(注 2)

注 1 取引回数=約定に至った注文の数

注 2 複数市場へのご注文は市場ごとに 1 回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額 (現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額) に対して最大 1.3200% (税込) の取次手数料をご負担いただきます。外国株式等の取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額をあらかじめ記載することはできません。

○外国株式等の国内店頭取引を行う場合、お客様の購入及び売却の取引価格を当社が提示します。国内店頭取引の取引価格は、主たる取引所の直近の出来値・気配値を基準に、合理的かつ適正な方法で算出した社内基準価格を仲値として、原則として、仲値に 3% を加えた価格を販売価格 (お客様の購入単価)、2% を減じた価格を買い取り価格 (お客様の売却単価) としています。

○非上場債券 (国債、地方債、政府保証債、社債) を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 100 万円以上、インターネット取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 30 万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。外国株式等の中には、金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われていない銘柄があります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2019 年 11 月 15 日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 170 号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2019 年 11 月 15 日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。